ウォーカブル・コンセプト

○徳島市総合計画2025（令和7年3月）より抜粋

4施策　施策01コンパクトで機能的なまちづくり　【目指す姿】

中心市街地では、JR徳島駅と阿波おどり会館を結ぶ都心軸であるシンボルゾーンを核として、集約された都市機能と眉山や河川網による自然環境が調和し、にぎわいにあふれた**「歩いて暮らせる、歩いて楽しめる」都市空間**がつくられ、交流人口と定住人口がともに増加し、人々の活気であふれています。

○徳島駅周辺まちづくり計画（令和元年6月）より抜粋

3. 徳島駅周辺のまちづくりの基本的な考え方
①まちづくりのコンセプト

「にぎわい交流軸」の形成においては、駅前広場を中心とした公共空間を、子供から高齢者までの**様々な世代の人々が、憩いの場、交流の場、活動の場として利用できる上質で居心地の良い滞留空間**と、**安全に安心して移動でき、高い回遊性を持った歩行者空間**に再編し、**車中心から人中心への空間に転換**を図ります。

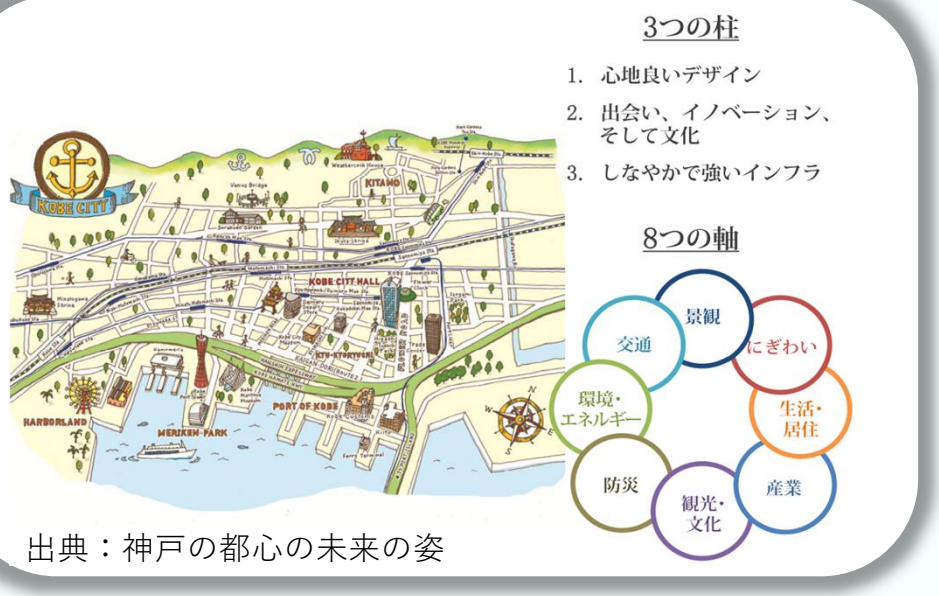


徳島駅周辺まちづくり計画（令和元年6月）より

令和8年度の取組：「歩きたくなるまち」の未来像を描く

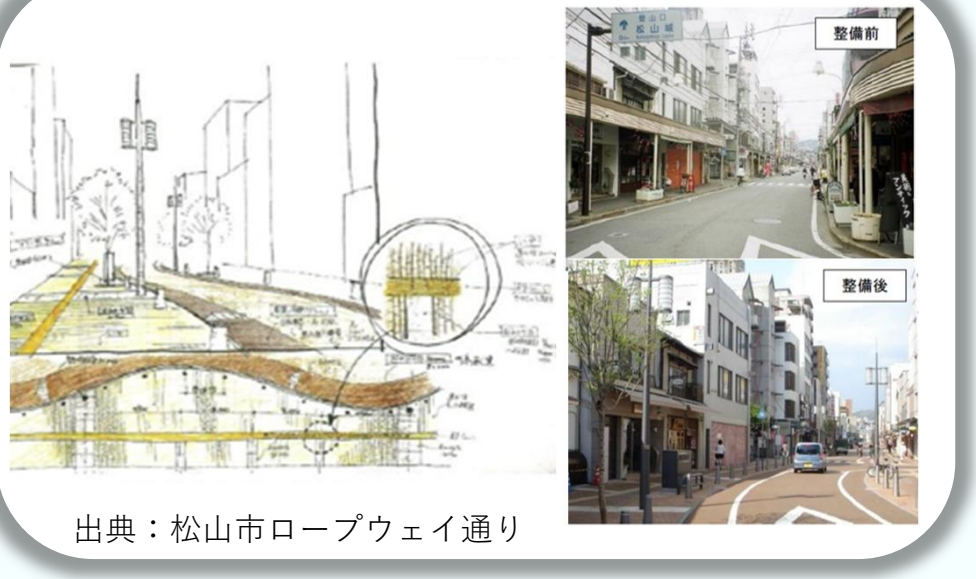
地域住民との共創による将来コンセプトとデザインの検討

長期的視点 - 全体コンセプトの検討



出典：神戸の都心の未来の姿

短期的視点 – 新町地区のデザイン検討



出典：松山市ロープウェイ通り

- **将来あるべき姿の共有**
  徳島市中心市街地の将来構想検討と連携
- **コンセンサスの形成**
  県民・市民・地元住民とともに、全体のコンセプトをとりまとめ
- **モデル事業の創出**
  全体コンセプトを見据え、先行して整備
- **地元との協働設計**
  商店街や住民とともに、完成予想図を描きながら、一体感のあるデザインを検討

令和9年度以降：デザインから実装へ、生まれ変わる新町橋通り

空間再編の実現と、新町西再開発との相乗効果の最大化

道路詳細設計と改良工事に着手

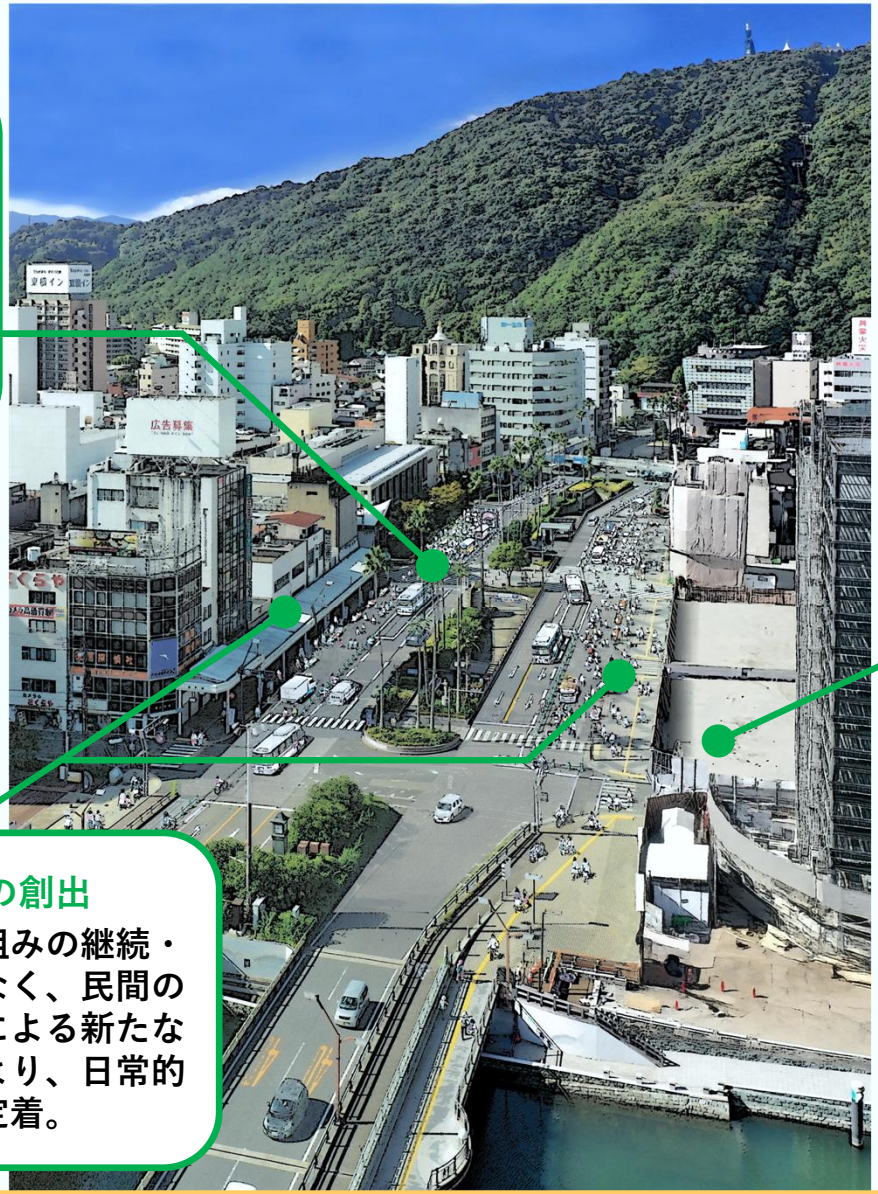
地域住民のニーズをもとに、
道路空間を再編し、
「にぎわい空間」を創出。

「歩行者利便増進道路」の指定を
見据えた整備

景観やデザインは
こだわって、歩きたい
通りにしたい

連　携

広いスペースで、
イベントしたい!!





再開発との強力なシナジー効果

「新町西再開発事業」で
整備される広場と一体となった
歩道の整備。


R7.11.30 新町橋マーケット

新たな日常の創出

既存の取り組みの継続・発展だけでなく、民間の自由な発想による新たな取り組みにより、日常的な賑わいを定着。

皆さんのアイデア・アクション次第で、新町の未来は無限大です！

皆さんの本気に、私たちも本気で応えます。